

「会社情報」サイトや「IR情報」サイト等で最新情報をお届けしています。

「会社情報」サイト → <http://www.t-gaia.co.jp/company/index.html>

トップページ▶会社情報▶拠点▶販売拠点



販売拠点情報 新規直営店舗(移転を含む)

【オープン日・移転日】

2015年4月3日	大阪府	ドコモショップ東梅田店
2015年4月17日	福岡県	ドコモショップゆめタウン久留米店
2015年4月24日	愛知県	auショップ豊橋カルミア
2015年5月22日	千葉県	ドコモショップ八街店
2015年6月1日	広島県	auショップえびす通り
2015年6月9日	広島県	ドコモショップゆめタウン廿日市店
2015年6月25日	静岡県	ソフトバンク掛川
2015年6月26日	東京都	ドコモショップ新中野店
2015年7月1日	栃木県	auショップ宇都宮FKD
2015年7月1日	栃木県	auショップインターパークビレッジ
2015年7月3日	大阪府	SmartLaboなんば戎橋
2015年7月16日	北海道	ソフトバンク函館駅前
2015年7月24日	兵庫県	Smart Labo神戸三宮
2015年9月4日	新潟県	ドコモショップ新津店
2015年9月10日	香川県	ドコモショップゆめタウン高松店
2015年9月17日	埼玉県	ソフトバンク越谷中央



「IR情報」サイト → <http://www.t-gaia.co.jp/ir/index.html>

トップページ▶IR情報▶個人投資家の皆様へ



個人投資家向け説明会(開催予定)

日本経済新聞社クロスメディア営業局 主催

2015年12月12日(土)
東京:日経カンファレンスルーム

日興アイ・アール主催

2015年12月19日(土)
名古屋:TKP名古屋栄カンファレンスセンター

日興アイ・アール株式会社の「全上場企業ホームページ充実度ランキング」最優秀サイト及び大和インベスター・リレーションズ株式会社の「インターネットIR表彰」優良賞の連続受賞に加え、当社は新たに、モーニングスター株式会社の「Gomez IRサイト総合ランキング2015」において優秀企業・銅賞を受賞いたしました。リニューアルに伴い、更に使いやすく見やすいホームページになったことが評価されたと考えております。今後もIR情報を始めとして、情報開示の充実に努めてまいります。



当社グループでは、株主の皆様からのご意見・ご質問をお受けしております。メール等にてお気軽にお寄せください。株主通信に関するご意見もお待ちしております。

T-GAIA 株式会社ティーガイア
〒150-8575 東京都渋谷区恵比寿4-1-18
TEL:03-6409-1111(代) E-mail:tg-ir@t-gaia.co.jp



本紙は、FSC®森林認証紙と植物性インキを使用しています。

T-GAIA 株式会社ティーガイア

東証第一部 3738

株主通信 vol.20

第25期 第2四半期(累計)

2015年4月1日~2015年9月30日



- モバイル事業
- ソリューション事業
- 決済サービス事業他





モバイル事業

ソリューション事業

決済サービス事業他

株主通信 vol.20

目次

企業理念	1
トップインタビュー	2
新規オープン・アクセサリショップ特集	4
連結業績ハイライト／経営概況	5
モバイル事業	7
ソリューション事業	9
決済サービス事業他	10
第2四半期(累計)連結財務諸表(要旨)	11
株主様アンケート結果と当社の株価推移	12
会社情報	13

企業理念

TGビジョン

－ティーガイアの企業姿勢－

未来を拓く、明日への飛躍

～ CHALLENGE TOMORROW ～

TGミッション

－ティーガイアの使命－

- ・新たなコミュニケーションの提案を通じ、お客様に感動・喜び・安心を提供します。
- ・社員とその家族に感謝し、平等なチャレンジの機会があり、働く喜びを実感出来る企業であり続けます。
- ・全てのパートナーと強い協力関係を築き、健全かつ公正な取引のもと共存共栄に努めます。
- ・グローバルな企業活動を通じ、あらゆる地域社会の発展に貢献します。
- ・株主を含む全てのステークホルダーの信頼に感謝し、企業価値を高め続けます。
- ・リーディングカンパニーとして時代の変化を先取りし、既存事業の強化に加え、新たな市場を開拓します。

TGアクション

－わたしたちの行動指針－

- ・お客様を第一に考え行動します。
- ・全ての人から「ありがとう」と言われる最高のサービスを提供します。
- ・プロフェッショナルとして継続的に自己研鑽を行います。
- ・互いを尊重し切磋琢磨することで、無限の可能性を引き出します。
- ・風通しの良い、積極的なコミュニケーションを図ります。
- ・チームワークを大切に、最高のパフォーマンスを発揮します。
- ・いかなる時も高い倫理観に基づき誠実に行動し、コンプライアンスを徹底します。
- ・現状に満足せず、情熱とスピード感を持ち、積極果敢に挑戦し続けます。

トップインタビュー Top Interview

企業理念に基づき中期目標を達成することで
持続的成長を実現し、株主様を始めとする
すべてのステークホルダーの期待に応えてまいります。

2015年12月
代表取締役社長

澁谷 年史



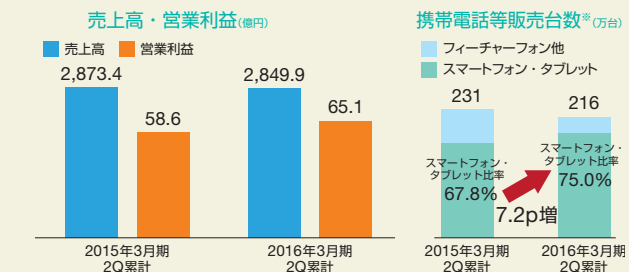
Q1 2016年3月期 第2四半期(累計期間)を
振り返っていかがですか。

今上期の連結業績につきましては、売上高が前上期比微減の2,849.9億円、営業利益は2桁増益の65.1億円となりました。決済サービス事業において、取扱高全体(券面額)を売上高として計上するPIN商材から、受取手数料のみを計上するギフトカードへと、商品構成が変化していることが減収の主な要因です。しかしながら、前上期を上回る売上総利益を計上し、業務効率化など全社的な構造改革を継続した結果、全セグメントで増益を達成することができました。また、今上期において当社グループ(当社及び連結子会社)は、216万台の携帯電話等を販売いたしました。特にスマートフォン(スマホ)及びタブレット比率は前上期比7.2ポイントアップの75%まで上昇しており、スマートデバイスの普及や浸透が一段と進みつつあると考えております。

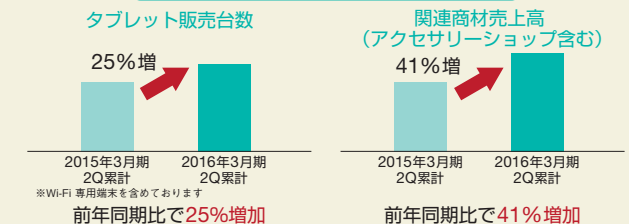
前期から強化しておりますタブレットの販売台数につきましては、前上期から25%増加いたしました。幅広い年代層のお客様にフィットする魅力的な商品として、当社グループ全体で積極的にご紹介することにより、お客様の利便性向

上に努めております。一方、スマホ向けアクセサリ等の関連商材も、販売好調を維持しております。端末を購入されるお客様のニーズに即した商品やサービスを丁寧にご説明し、お客様のスマホライフ充実に向けた総合的なご提案を行うことで、関連商材の売上高も前上期比で41%増加いたしました。

全社業績・販売台数



タブレット販売台数・関連商材売上高



Q2

ティーガイアの中期的な目標について教えてください。

MVNO(仮想移動体通信業者)やFVNO(仮想固定通信業者)の本格化、ウェアラブルデバイスの普及、アクセサリーを始めとする関連商材の市場拡大に加え、当社グループの主要な販売チャネルであるキャリアショップ店頭での取扱商材・サービスの増加や多様化が進むなど、昨今の通信業界の事業環境は、急激に変化しております。このような環境下、当社は2020年度に向けて、ご覧のような中期目標を掲げました。企業理念を踏まえて本中期目標及び全社共通戦略を推進し、全役職員が一丸となって目標達成に邁進いたします。これにより持続的成長を実現するとともに、すべてのステークホルダーの期待に応えてまいります。

- 1 中核の携帯電話代理店事業において、リーディングカンパニーとしてのポジションを堅持する
- 2 法人向け事業、決済事業、海外事業などを確固たるコアビジネスとして育成する
- 3 モバイル、インターネット業界で、新たな事業機会を発掘、開拓する
- 4 配当性向30%以上を維持する

上記を実現するために、以下を全社共通戦略として掲げ、日々具体的方策に取り組んでおります。

- 「人材」の育成、登用、活用、確保を行い、従業員一人ひとりの成果の最大化、最適化を実現する
- 戦略的、継続的コストマネージメントを行い、市場の変化に対応したコスト構造に変革をする
- 組織、制度の最適化を柔軟に行うことで、全社成果の最大化を図る

Q3

株主還元方針など、株主様へのメッセージをお願いします。

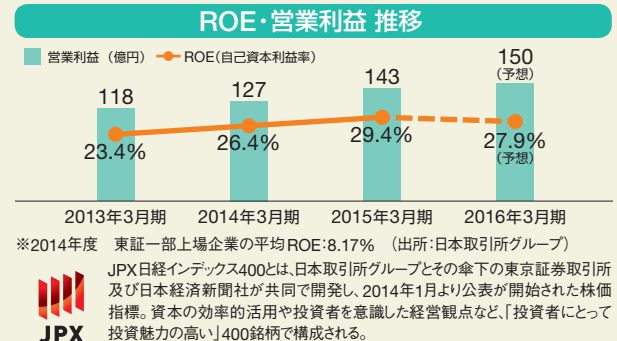
株主の皆様への還元につきましては、業績の進展に応じて、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、中期目標にも掲げているように、配当性向30%以上を目処に利益還元を実施してまいります。

今期は通期で1株当たり3.5円増配し、41円の年間配当を予定しております。

配当について			
2016年3月期 配当金 (1株)	中間 配当金	期末 配当金	年間 配当金
	20.5円	20.5円(予想)	41円(予想)

おかげ様で当社は本年8月、「JPX日経インデックス400」への3度目の継続採用が決定いたしました。設立以来、高水準のROE(自己資本利益率)と営業利益を維持してきたことが、評価いただけた結果と考えております。引き続き資本効率を重視し、収益力の強化・多様化を推進するとともに、株主価値並びに企業価値の更なる向上に注力してまいります。

今後とも、ご支援・ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。



Smart Labo なんば戎橋

2015年7月3日オープン



国内外の観光客で賑わう関西地区最大の商業地区、戎橋筋商店街にオープン。1FをiPhoneケースフロア、2FをAndroidケース・iPad等タブレット関連商材・その他周辺アクセサリーフロアとして、5,000点ものバラエティに富んだ商品をラインナップいたしました。

更に、1F・2Fのアクセサリー売場に加えて、2015年11月4日に3Fフロアを拡充。スマートフォン向けアクセサリーショップ「Smart Labo」としては初の取り組みとなるMVNO SIM及びSIMフリー端末の専用コーナーを中心に、視聴可能なオーディオコーナーを新設いたしました。当初のラインナップとして、NTTコミュニケーションズ社のMVNO SIM、FREETELブランドのSIMや端末まで、豊富な品揃えをご用意しております。英語・中国語にも堪能な専門スタッフが、プリペイドSIMの販売から端末の設定サポート、アクセサリーとのトータル・コーディネートのご提案まで、総合的なサービスを提供しております。

Smart Labo 神戸三宮

2015年7月24日オープン



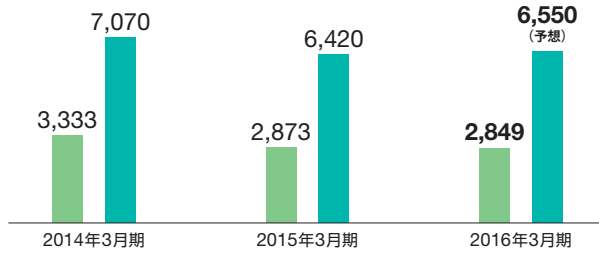
日本屈指の洗練されたスポットとして知られる神戸・三宮センター街の中心部に位置しており、抜群の集客力を誇っております。店内には神戸らしいアンティークな内装の中、高い天井を生かした中二階を設置し、豊富な品揃えを提供することで、独特の雰囲気ある空間を作りました。約2,000点の商品ラインナップで、お客様の多様なニーズにお応えいたします。

連結業績ハイライト／経営概況

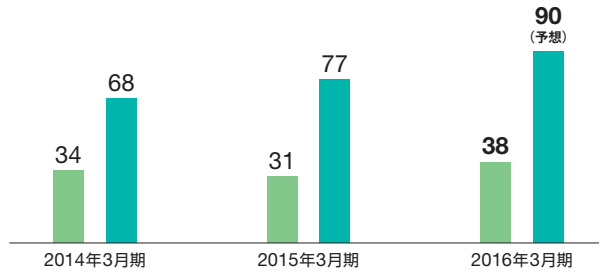
Financial Highlight / Corporate Outlook

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位未満切捨て)

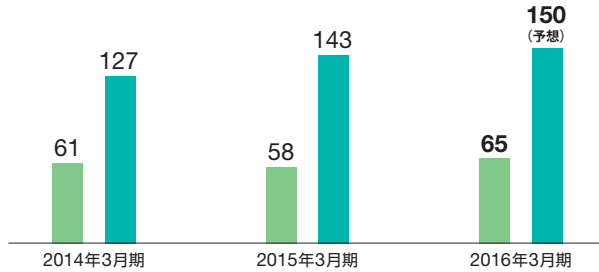
売上高 (億円)



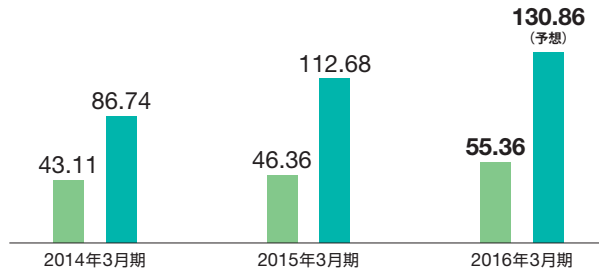
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



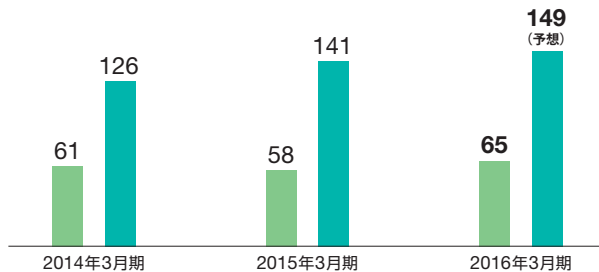
営業利益 (億円)



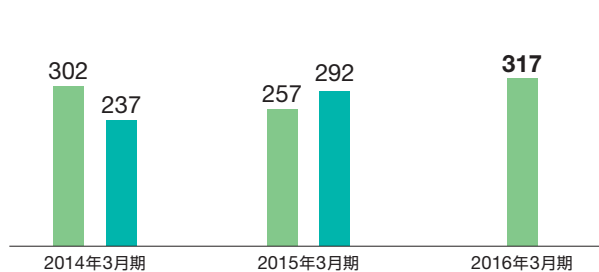
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



経常利益 (億円)



純資産 (億円)



2016年3月期 第2四半期累計期間の業績

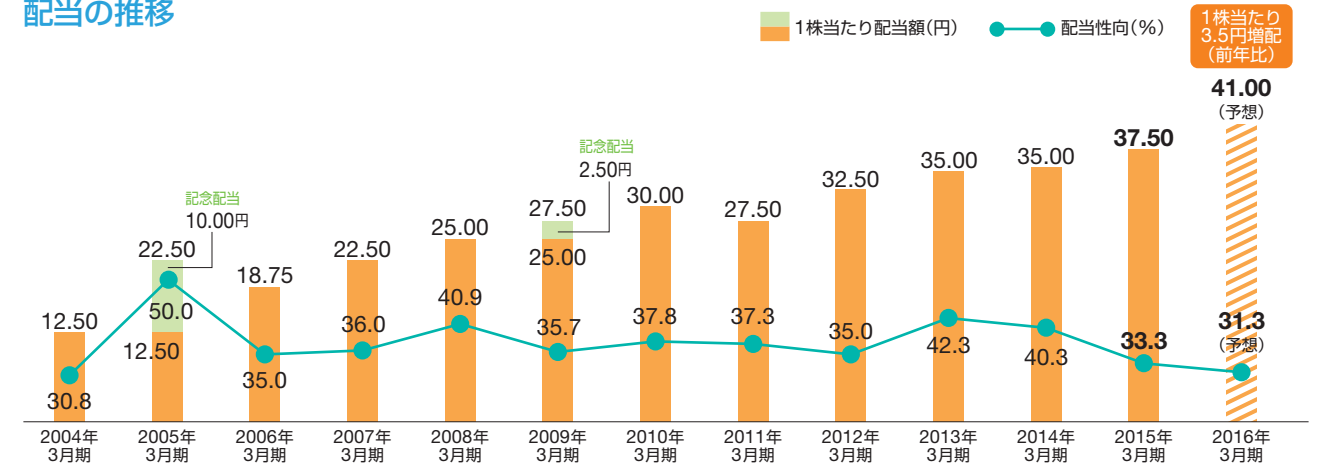
第2四半期連結累計期間(2015年4～9月)におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果により、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向にあり、国内の景気は緩やかな回復基調にありました。一方、海外情勢においては、中国をはじめとする新興国経済の減速が懸念される等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業分野である携帯電話等販売市場は、タブレットの需要拡大やアクセサリ等のスマートフォン関連商材の販売好調により、堅調に推移いたしました。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は216万台となり、スマートフォンの販売比率は7割台半ばまで上昇いたしました。

全社的な業務効率化等の構造改革を継続した結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,849億94百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益65億14百万円(同11.0%増)、経常利益65億13百万円(同11.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益38億7百万円(同19.5%増)となり、全セグメントで売上総利益が伸長し、増益となりました。

配当の推移



※上記の数値につきましては、過去に実施いたしました株式分割を勘案した数値を掲載しております。

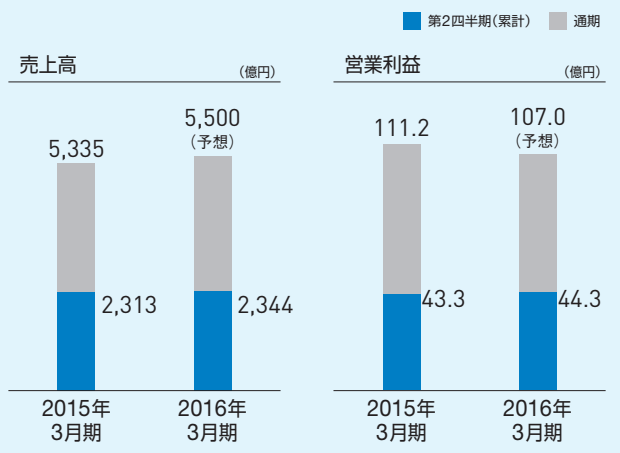
モバイル事業

Mobile Telecommunication Business

営業利益
セグメント別構成比
68.1%

事業内容 携帯電話等の販売及び代理店業務

業績



販売競争の沈静化や人気機種が発売時期が前期よりも遅れたこと等により、販売台数は前年同期を下回りました。一方、需要が拡大しているタブレットの販売が増加したことに加え、光回線とのセット割引をはじめとする各種サービスやアクセサリ等のスマートフォン関連商材の販売も好調に推移いたしました。更に、生産性・効率性を重視した店舗運営等を推進した結果、売上高は2,344億11百万円、営業利益は44億39百万円となりました。

また、多種多様な商材・サービスの登場により、店舗の重要性が益々高まる中、当社グループでは、お客様のスマートフォンライフ充実のため、販売スタッフの教育・研修強化によるサービススキルの向上に取り組まれました。

加えて、店舗の大型化を目的とした移転・改装やアクセサリショップの新規出店等、将来を見据えた戦略的な投資も実施いたしました。



当社グループキャリアショップ店舗数 (直営店・代理店含む) (2015年9月末現在)

ドコモショップ 279 店 内直営店 170店	auショップ 430 店 内直営店 66店	ソフトバンクショップ 461 店 内直営店 33店	ワイモバイルショップ 67 店	チャイナユニコムショップ(上海)* 8 店 内直営店 8店
*チャイナユニコムショップの損益は、決済サービス事業他に含まれます。				
合計 1,245 店 内直営店 277店				

2016年3月期の取り組み

モバイル・インターネット業界で新たな事業機会を発掘、開拓

更なる収益基盤の強化

- 光コラボレーションやタブレット、関連商材等を積極的にご提案し、ワンストップサービスを提供
- 販売・教育ノウハウを傘下代理店へ展開し、TGグループの総合力を強化
- 生産性と効率性を重視した構造改革を継続

人財教育への積極的な投資*

講師 (8名)	教育・研修のスペシャリストであるSV(スーパーバイザー)を育成
スーパーバイザー (58名)	トレーナーの教育・研修のため、全国の拠点に派遣・配置へ
トレーナー (290名)	各店舗での教育・研修を担当 直営店において1店舗1名以上を配置

*教育・研修は連結子会社である株式会社キャリアデザイン・アカデミーが実施しております。

アクセサリショップの積極的な展開

全国の主要都市に計13店舗出店 (2015年9月末時点、ECサイト除く)

Smart Labo

- 仙台クリスロード(宮城県)
- ラプラ2(新潟県)
- 松本パルコ(長野県)
- アトレ秋葉原(東京都)
- アトレ亀戸(東京都)
- イオンモール大高(愛知県)
- AppBank Store新宿(東京都)
- 心齋橋(大阪府)
- なんば戎橋(大阪府)
- 西宮ガーデンズ(兵庫県)
- 神戸三宮(兵庫県)
- 大街道中央(愛媛県)
- 広島本通(広島県)

Smart Labo 仙台クリスロード

Smart Labo 西宮ガーデンズ

Smart Labo アトレ亀戸

Smart Labo 心齋橋

アクセサリショップ売上高

時期	売上高
2015年3月期 第2四半期(累計)	ベース
2016年3月期 第2四半期(累計)	40%増

*AppBank Store[®]はAppBank Store株式会社の登録商標です。

ソリューション事業

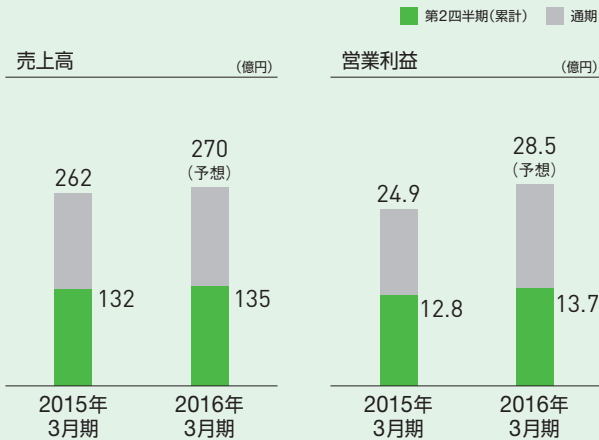
Solution Marketing Business



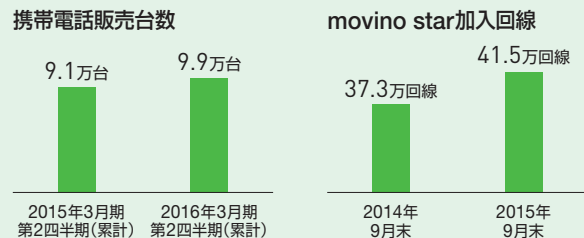
事業
内容

法人顧客向けの携帯電話等の販売やソリューションサービスの提供、固定通信サービスの販売取次業務

業績



企業のスマートデバイスの導入・活用を積極的に提案したことにより、販売台数が増加したことに加え、キッティングサービスやヘルプデスクをはじめとする各種サポートサービスを含めた総合的なモバイルソリューションの販売を強化いたしました。更に、固定回線系商材の販売も引き続き底堅く推移した結果、売上高は135億33百万円、営業利益は13億77百万円となりました。



2016年3月期の取り組み

法人向けモバイルソリューション事業

- 総合的なモバイルソリューションの提案により、企業のスマートデバイス導入・活用を促進
- 新 movino star (*) を契機に、法人顧客基盤の更なる強化と新規顧客の開拓を推進
※ movino star = 法人向け通信回線一括管理サービス

ネットワーク事業

- 光コラボレーションの更なる拡販



movino starの刷新

ポイント1
資産管理範囲の拡大

NEW
回線有端末 + 回線無端末(Wi-Fi端末等)、ライセンス情報

ポイント2
高度な分析機能

ポイント3
購買機能の充実

アクセサリも同時購入可能

ポイント4
インターフェースの変更(操作性の向上)

11月より movino star を刷新、更に便利で快適に

決済サービス事業他

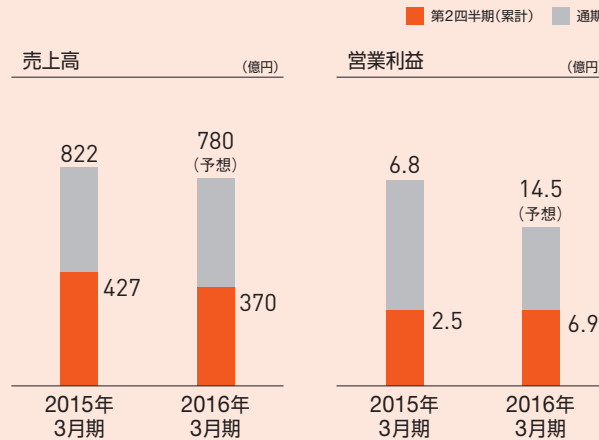
Settlement Service & Other Business



事業
内容

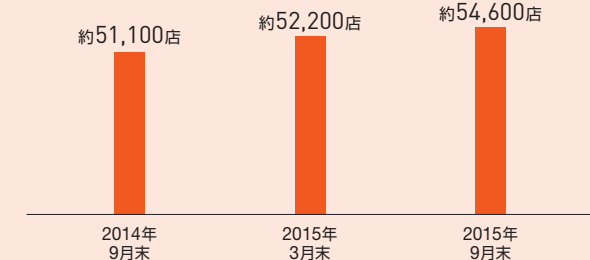
決済サービス、海外事業、その他新規事業

業績



券面額を売上高とする電子マネー系商材から、受取手数料のみを売上高として計上するギフトカードへと商品構成の変化が続いており、売上高は370億50百万円となりました。利益面においては、コンビニエンスストア等でのギフトカードの販売が好調に推移したことに加え、中国やシンガポールでの海外事業において収益が改善したことにより、営業利益は6億97百万円となりました。

PIN・ギフトカード取扱店舗数の推移



2016年3月期の取り組み

決済サービス事業

- 市場の拡大に応じて、新たな商材を拡充し、ギフトカードを拡販
- 新たな販路の開拓
- ユーザーニーズを的確に捉えた積極的な販促活動を推進

海外事業

携帯電話等販売事業(中国)

- 日本式サービスの浸透と販売効率化の実現

決済サービス事業(シンガポール)

- ギフトカードの販売強化により早期黒字化へ



※調査期間 2015年6月～2015年8月

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	期別	
	当第2四半期 2015年9月30日現在	前期 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	62,439	75,029
固定資産	13,824	15,051
有形固定資産	3,128	3,148
無形固定資産	4,144	5,027
投資その他の資産	6,551	6,874
資産合計	76,263	90,080

区分	期別	
	当第2四半期 2015年9月30日現在	前期 2015年3月31日現在
負債の部		
流動負債	39,746	54,243
固定負債	4,808	6,550
負債合計	44,554	60,794
純資産の部		
株主資本	31,292	28,860
資本金	3,154	3,154
資本剰余金	5,640	5,640
利益剰余金	31,252	28,820
自己株式	△8,755	△8,755
その他の包括利益累計額	247	244
非支配株主持分	169	181
純資産合計	31,708	29,286
負債純資産合計	76,263	90,080

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	期別	
	当第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	前第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日
売上高	284,994	287,348
売上総利益	29,818	29,364
営業利益	6,514	5,869
経常利益	6,513	5,838
税金等調整前四半期純利益	6,306	5,812
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,807	3,187

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

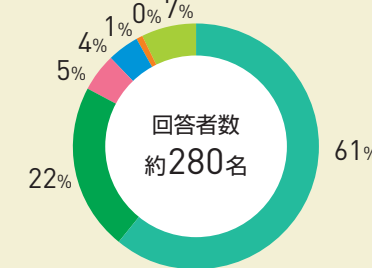
区分	期別	
	当第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	前第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	16,227	31,856
投資活動による キャッシュ・フロー	△785	△1,661
財務活動による キャッシュ・フロー	△14,879	△31,485
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,653	2,172

当社グループは、株主・投資家の皆様へのタイムリーで的確な情報開示を心がけ、積極的なIR活動を行っております。株主の皆様とのコミュニケーション促進を図るべく、同封させていただきましたアンケートに対して、おかげさまで多数の皆様からご回答やご意見をいただくことができました。

その結果及び上場以来の当社の株価推移につきまして、ご報告させていただきます。ご協力、誠に有難うございました。

今後の当社株式について

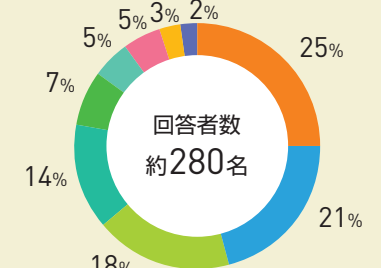
■ 長期保有 ■ 当面保有 ■ 買い増し ■ 一部売却
■ 全部売却 ■ 短期売却 ■ 検討中



「長期保有」「当面保有」「買い増し」の割合が全体の8割を超え、継続保有のご意向がうかがえます。

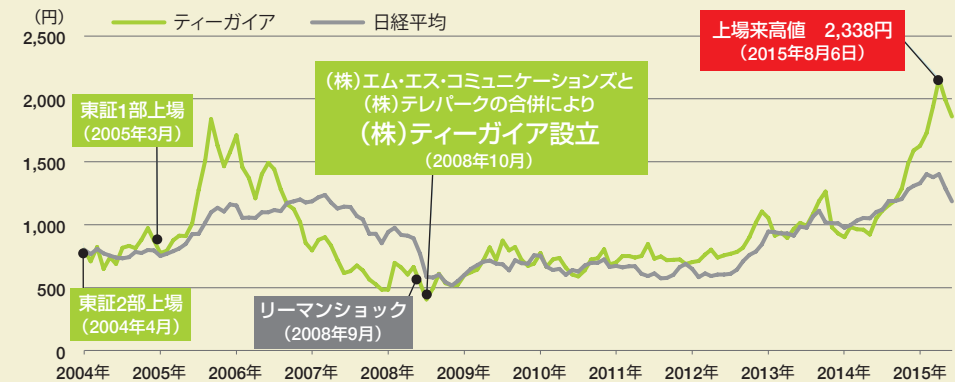
株式購入ポイント

■ 将来性 ■ 配当 ■ 成長性 ■ 収益性 ■ 事業内容
■ 企業理念 ■ 株価の値頃感 ■ 財務内容 ■ その他



株式購入のポイントとして「将来性」が最多となっており、次いで「配当」「成長性」「収益性」となっております。

株価推移(上場以来)



2008年10月のティーガイア設立以来、おかげさまで当社の株価はほぼ右肩上がりへ上昇し、本年8月6日には上場来高値の2,338円を記録いたしました。今後も持続的な成長の実現と株主価値・企業価値の最大化を目指してまいります。

会社情報

Corporate Data

株式情報 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	79,074,000株
株主数	3,695名

大株主 (2015年9月30日現在)

氏名または名称	所有株式数	持株比率
住友商事株式会社	23,345,400株	33.94%
三菱商事株式会社	13,045,400株	18.96%
株式会社光通信	11,420,000株	16.60%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,540,400株	2.23%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,190,200株	1.73%
全国共済農業協同組合連合会	1,100,000株	1.59%
メロン バンク トリーティー クライアント オムニバス	754,994株	1.09%
ティーガイア従業員持株会	698,000株	1.01%
メロン バンク エヌイー アズ エージェント フォー イツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ベンジョン	576,298株	0.83%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	456,639株	0.66%

※持株比率は自己株式10,300,357株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

ご注意

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座で管理されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式によりお受取りの株主様の「支払通知書」につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

会社概要 (2015年9月30日現在)

商号	株式会社ティーガイア (T-Gaia Corporation)
本社所在地	〒150-8575 東京都渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート14F～18F
資本金	3,154百万円
設立	1992年2月
事業内容	(1)携帯電話等の販売及び代理店業務 (2)ソリューション、ブロードバンド等 通信サービスの販売取次業務 (3)決済サービスその他新規事業
販売地域	日本全国
従業員数	4,420名

本社・支社・支店 (2015年9月30日現在)

本社	〒150-8575 東京都渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート14F～18F TEL:03-6409-1111
西日本支社	〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ15F TEL:06-4560-6600
東海支社	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ6F TEL:052-223-8700
九州支社	〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町7-20 博多祇園センタープレイス10F TEL:092-283-7600
北海道支店	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西8-2 住友商事・フカミヤ大通ビル8F TEL:011-241-2525
東北支店	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-15-1 ルナール仙台13F TEL:022-713-6001

役員 (2015年10月31日現在)

取締役会長	竹岡 哲朗
代表取締役社長執行役員	澁谷 年史
取締役副社長執行役員	片山 文平
取締役副社長執行役員	金治 伸隆
取締役専務執行役員	多田 総一郎
取締役(社外取締役)	内藤 達次郎
取締役(社外取締役)	新 将命
取締役(社外取締役)	近田 剛
常勤監査役(社外監査役)	筏井 誠
監査役(社外監査役)	松岡 幸秀
監査役(社外監査役)	蒲 俊郎

新潟支店	〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所1-1-24 エヌビル3F TEL:025-247-7077
長野支店	〒380-0921 長野県長野市栗田991-1 イーストゲート長野ビル6F TEL:026-267-7220
北陸支店	〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル3F TEL:076-222-3300
中国支店	〒730-0037 広島県広島市中区中町8-12 広島グリーンビル8F TEL:082-546-2811
四国支店	〒760-0017 香川県高松市番町1-1-5 ニッセイ高松ビル9F TEL:087-811-2361